

## 令和4年度第1回埼玉医科大学病院医療安全業務監査委員会議事録要旨

日 時：令和4年8月1日(月)17:00～19:00

外部監査委員：森本義博 委員長（社会保険診療報酬支払基金）

水谷渉（駒込たつき法律事務所）

栗田博（前毛呂山町教育委員会教育長）

丸山元孝（坂戸鶴ヶ島医師会会長）

荒井有美（北里大学病院医療の質・安全推進室副室長）

内部監査室：田中寿（埼玉医科大学内部監査室長）

監査管理者：篠塚望（埼玉医科大学病院長）

以下3点について確認がなされた

① 医療安全管理関係

② 感染対策関係

③ 情報セキュリティ関係

### 医療安全管理部門

対応報告事例の手術一時全面中止は病院長判断か。

→病院長判断である。

新型コロナウイルス拡大下でも実施を継続した医療安全業務はあるか。

→情報発信はeラーニング形式とし、院内ラウンドは非常に重要であるものと捉え、病棟が閉鎖されない限り継続した。

新型コロナウイルス拡大下での特異的なインシデント

→看護師がPPEの着脱中、精神疾患患者の手袋誤飲事例があった。

インシデント・アクシデント報告をどのように評価しているか。またどのようなインシデントが多い傾向にあるか。

→影響度レベル0のインシデントを多く報告している部署は表彰している。高齢患者の転倒転落時の重症度が高い傾向にあり、重点的に対応している。

日本医療機能評価機構への報告症例はどのような基準で報告しているか。

→影響度レベル3b以上を報告。2021年度の日本医療安全調査機構への報告は0件。

### 医療機器安全管理部門

改善の方策について周知確認方法

→eラーニング研修で周知、テストにて理解度の確認を行っている。また、院内ラウンドの際に周知状況を確認している。

### 医療放射線安全管理部門

放射線線量について患者さんへの説明（開示）について

→今年度より書類作成して運用始める予定。

### 医薬品安全管理部門

発注、入庫、在庫管理で医療安全に注力している部分で注意している点について

→ハンディーターミナル（HT）での入力確認操作とバーコードによるチェック体制。類似している医薬品があるため HT で GS1 コード照合。その後薬品棚の JAN コードとの照合で充填間違いを未然防止。調剤で医師のオーダーと間違えて払い出すことを防ぐため調剤包装単位コードと照合してとりちがいを防止。また病気に対して処方薬にも監査している。薬学的管理ができるように機械を導入して医療安全に努めている。

医薬品安全管理者の他に医療安全管理部門に在籍しているかの確認

→管理者とは別で医療安全管理室に専従薬剤師（実務者）がいる。

医薬品安全管理者として注力注いでいる点について

→禁忌チェックについては月 1 チェック。データアップデートは年 4 回行い禁忌チェックがかかるかチェック。ブルーレター（安全性速報）イエローレター（緊急安全性情報）について院内文書にて配布。最終的に薬剤部にて周知徹底を図っている。

### 高難度新規医療技術等・未承認新規医薬品等管理部門

特に質問事項なし

### 感染対策部門

中途採用教育についての実施状況

→e ラーニングを受講したうえで臨床業務についてもらっている。

手指衛生遵守率が昨年度と比較して向上している理由

→遵守率が低かった医師部門に対し、診療科別に感染対策実務者を決め、遵守に関する活動をしていただいた。全職員への携帯型手指消毒剤の配布、院内の複数会議にてフィードバックして周知した。

サーベランスの拡充について全外科系診療科 SSI 実施しているのか

→全診療科に、SSI が問題となりうる術式を選択していただき、前向きにデータを集めている。

### 個人情報保護部門

個人情報保護に関わる委員会と医療安全に関わる委員会の役割の関係性について

→情報セキュリティ委員会と医療安全が取り扱う内容で個人情報に関する部分はオーバーラップしている。そのため、情報セキュリティ委員メンバーに医療安全対策室のメンバーが委員として参加している。

学会発表等に使う場合の持ち出しについて

→申請に基づき、診療情報管理室から個人情報を消したうえで渡している。

### 総評

概ね良好。

被ばく関係とインフォームドコンセントについて詳細な報告を以後期待。院内での USB を使ったデータ抜き取り対応などセキュリティに関して次回確認したい。